

平成28年
6月
定例会
6月3日～
6月27日

東小・中学校 改築の設計費可決 戸田市初の小中一貫校か!?



▲戸田東中学校

▲戸田東小学校

主な議案

一般質問

議会を知つtoco

知つtocoクイズ

委員会視察レポート

6月定例会は6月3日から27日までの25日間の会期で開かれ、提出された33件の議案等を、いずれも可決・承認・同意しました。本会議では、6議案に対し延べ14人の議員が質疑をし、議案2件及び請願1件に対し、5人の議員が討論を行いました。
4日間にわたる一般質問では、17人の議員が活発な論戦を展開しました。

主な議案

一般会計補正予算

3億500万円を追加するものです。歳出では情報セキュリティ対策の抜本的強化に係る経費、戸田東小学校・戸田東中学校改築等工事設計業務委託料の新規計上など、歳入では臨時福祉給付金給付事業費国庫補助金の新規計上と前年度繰越金を見込んだものです。

質疑

東小・東中の改築に至った経緯は。

A 建築から45年以上経過した公共施設を対象に実施した建物健全度調査において、東小・東中学校の建て替え優先度が高い結果となった。一方、特に東小学校では、大型集合住宅等が建設され、児童数の急激な増加により、平成30年度から教室不足が生じ、その数年後には大幅な不足を生じる見込みである。これらのことから、建て替え優先度の高い隣接する2校を同時に建て替えること

スケジュールは。

A 平成28年度は基本設計、29年度に実施設計、30年度から32年度にかけて建設工事、平成33年4月開校を考えている。

待機児童急増！ 国へ意見書提出

健康福祉委員会では、執行部より、本市の人口増加率は県内一であり、これに伴い就学前児童数も増加していることから、積極的な保育所整備を実施し、保育受け入れ可能人数の拡大を図ってきたにもかかわらず、待機児童数が増加していること、また、保育単価の地域区分が近隣市に比べて低いことなど、本市の置かれた窮状についての報告を受け、意見書を国に提出するため委員会提出議案を本会議に提出、可決されました。

6に対し、さいたま市・蔵市1000分の15、和光市1000分の16、東京都特別区1000分の20である。この大きな乖離は保育施設の整備・運営事業者の新規参入や保育士確保に多大なる影響を及ぼしていることから、保育単価の地域区分の見直しを早急に図ること。また、就学前児童数等の増加が著しく、保育所入所希望者数が急増している自治体に対し、国庫補助の負担割合を引き上げるなどの措置を講じ、一般財源の歳出負担が軽減される仕組みを早急に構築し、実施することを求める。

◆骨髄移植ドナーに対する支援の充実に関する意見書
骨髄移植等の一層の推進を図るため、事業主向けに策定した労働時間等見直しガイドラインの中でドナー休暇制度を明示するなど、企業等の取り組みを促進するための方策を講ずるとともに、ドナー休暇の制度化についても検討することなど2点を求める。

◆次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しに関する意見書
次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しにおいては、高齢者の自立を支援し、介護の重度化を防ぐといった介護保険の理念に沿って介護が必要な方の生活を支える観点から検討を行うことを求める。

いじめ問題調査委員会条例の一部改正

本市のいじめ問題調査委員会において、いじめ以外の自殺の調査も行えることが有効と考え改正するものです。

立法趣旨に合致するものと評価

条例の立法趣旨は、学校等の調査に加えて、第三者による調査機関を設けることにより、調査の独立性、公平性、中立性を保つ点にあると考えられる。今回の条例改正は、国の新たな方針及び全国で初めて戸田市で行われた、いじめ重大事態対応訓練での検証に基づき、審議の充実や透明性を図る点など、立法趣旨に合致するものと評価し、賛成する。

賛成討論

遠藤英樹 議員

安心・安全な教育環境整備を求める

東小・東中の改築等工事設計業務について、唐突感があったものの、これから2年間の設計、3年間の建設期間もあるため、今後5年間で十分議論していけるものと思う。児童生徒の増加の状況を考えれば、上程が遅れることによる児童生徒への不利益を考慮しなければならぬし、公共施設等総合管理計画の策定中だからといって、補正予算を上程してはいけないという考え方は違うと思う。
執行部においては、議会と情報を共有しながら、安心・安全で、素晴らしい教育環境を整備されることを求め、賛成する。

反対討論

花井伸子 議員

説明不足。来年度当初予算で出し直しを

設計予算2億1千万円もの東小・東中学校の一体型建て替えについて、これまで議会には全く報告はなかった。市長は新規事業は当初予算で組むことを基本としており、今後の公共施設の建て替えは公共施設等総合管理計画のとり進めていくとのことだった。なぜ突然の補正予算なのか、納得できる資料もない中で、本補正予算への賛否は唐突であり、議会、市民への説明責任が果たされていない。本日に「市財政は厳しい」のか。また、約1800人規模の施設一体型一貫校が、子供たちにとって影響するのか、心配も拭えない。説明不足を正し、来年度当初予算で改めて出し直すことを求めて反対する。

結果

原案可決(19対3)

主な議案

一般質問

議会を知つtoco

知つtocoクイズ

委員会視察レポート

※中1ギャップ……小学校から中学校に進学した際、学習や生活の変化になじめず、不登校となったり、いじめが増加する現象。